

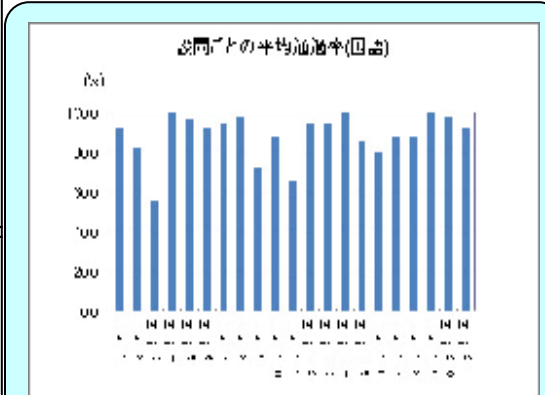
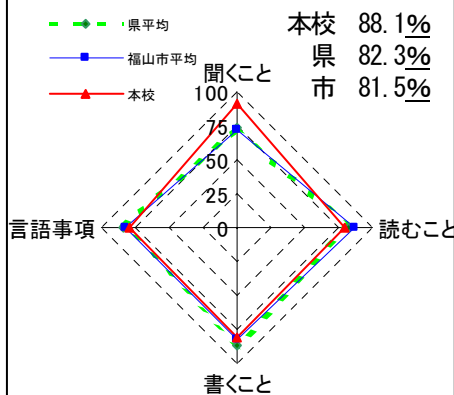
昨年度課題

- ①【読むこと】場面の移り変わりや情景を叙述をもとに想像しながら読みとる力が不足している。
- ②【書くこと】目的や意図に応じて必要な事柄を整理し、事象や意見などを関係づけて書くことが十分できていない。

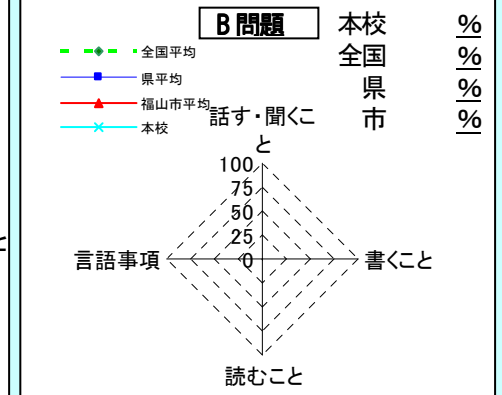
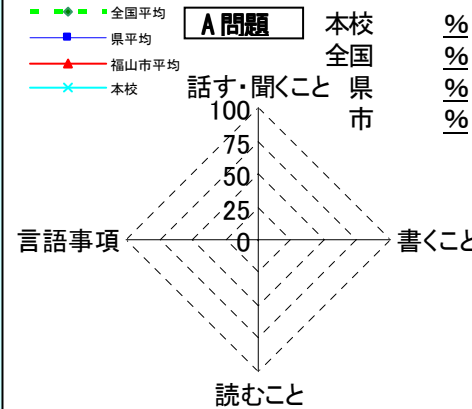
昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ①【読むこと】読みとった文章の内容を字数を制限してまとめたり、適語で小見出しをつけさせたりする。
- ②【書くこと】各教科や日常生活において文章・表・グラフなどから情報を収集し、報告文を書く活動を取り入れていった。
《本年度の目標値》

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎ローマ字を正確に覚えていない。(通過率 65.3%)
- ◎「要点の聞き取り」の問題において、文や話の要旨や要点を聞き取り、メモに整理する力が十分ついていない。(通過率 55.1%)
- ◎「文と文の意味のつながり」の問題において、長文を正しく読みとる力が不足している。(通過率 79.6%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業・家庭学習)

【国語科】

- ①物語文や説明文の授業において、文を読んで要点をまとめたり、それを児童相互に評価しあったりする活動を豊富に取り入れる。
- ②ナンバリングを用いるなど、簡単なメモを取る活動にしっかりと取り組ませる。
- ③文章を正確に読み取る力を高めるために「ことばのきまり(文法)」の指導を充実させる。

【全校・他教科等】

- ①ローマ字を使う機会を増やすために、定期的に家庭学習でローマ字に取り組ませる。
- ②ナンバリングを用いたノート指導を他教科でも積極的に取り入れていく。
- ③長文読解の練習プリントを家庭学習に位置づけ、練習量を増やすとともに家庭での読書量の増加を図る。

取組みの検証

- 時期 2月中
- 目標値 平均値90点以上
- 方法 NRTテストの全校実施

来年度の目標値

- 「ローマ字の記述」の設問の通過率を75%以上にする。
- 「要点の聞き取り」に関する設問の通過率を70%以上にする。

授業改善シート〔算数〕

校番(63) 福山市立明王台小学校

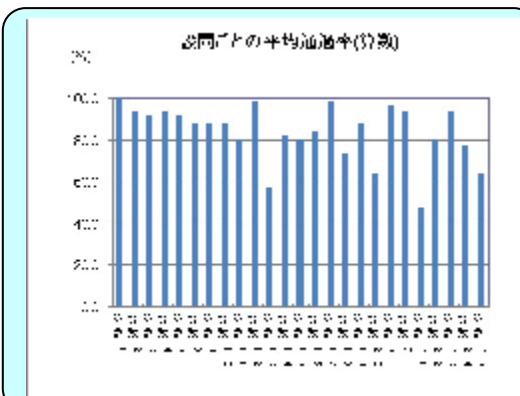
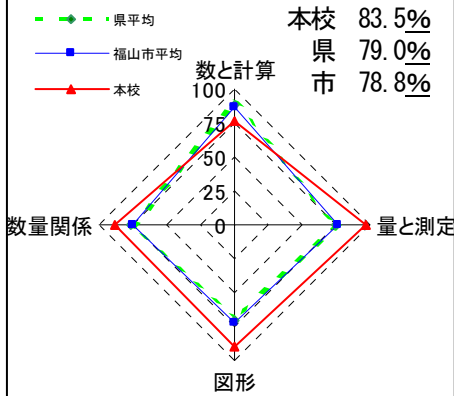
昨年度課題

- ①【数量関係】量感が不足しており、単位の換算が正確にできていない。
- ②【数量関係】数字が表している意味を理解することが出来ず、変化のきまりを見つけ数式化することが難しい。

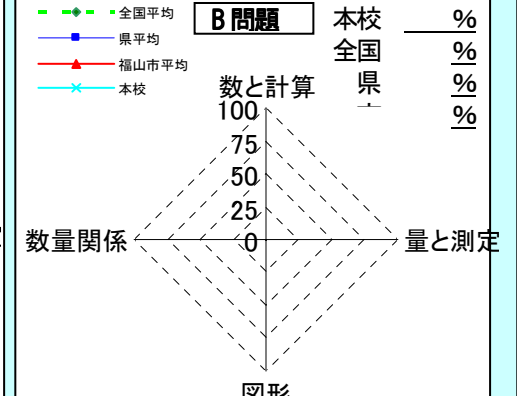
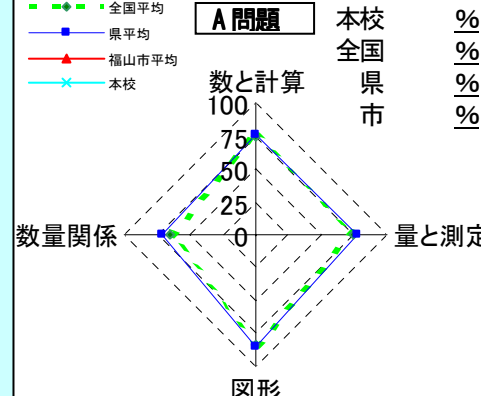
昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ①習った単位を使い、身近な生活の中にあるものをたくさん計測させる。
 - ②表のどの部分に着目すればよいか考えさせ、変化のきまりを見つけて多様な表現でノートに書かせる。
 - ③一人の児童の考え方を他の児童が説明したり、どのような工夫が用いられているかを話し合ったりする活動を取り入れる。
- 《本年度の目標値》

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎「面積の単位」の問題において、面積のそれぞれの単位について適切な量感が育っていない。(通過率 57.1%)
- ◎数量の関係を () を使って1つの式で表すことが出来ない。(通過率 46.9%)
- ◎直角三角形の作図が正確にできていない。(通過率 63.3%)
- ◎「伴って変わる数量」の問題において、数値の変化の規則性を考えたりそれを公式化したりすることができていない。(通過率 63.3%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業・家庭学習)

【算数科】

- ①身の回りの実物を使って実際に触ったり測定したりしながら、体験を通して量感を感じ取らせていく。
- ②思考力を高めるために、様々な角度からじっくり考える活動、自分の考えを論理的にまとめる活動、考えを互いに交流しあう活動を充実させる。
- ③練習量を増やとともに、単元終了後も定期的に反復練習を取り入れ、確実な定着を図る。

【全校・他教科等】

- ①日常生活の中で算数の単位をしっかりと結び付けていく。
- ②思考力を高めるために、様々な角度からじっくり考える活動、自分の考えを論理的にまとめる活動、考えを互いに交流しあう活動を充実させる。

取組みの検証

- 時期 2月中
- 目標値 平均値90点以上
- 方法 NRTテストの全校実施

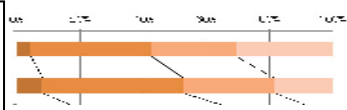
来年度の目標値

- 「数量の関係を式で表す(通過率 46.9%)」及び「伴って変わる数量(通過率 63.3%)」の設問の通過率を10%上げる。

1 生活・学習

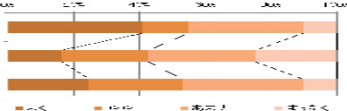
学習習慣

○学校の授業の予習をするようにしています。
○学校の授業の復習をするようにしています。



読書活動

○本を読むのが好きです。
○読んだ本の内容について友達や家族とはなしをしています。
○家で本や資料などを利用して学習しています。

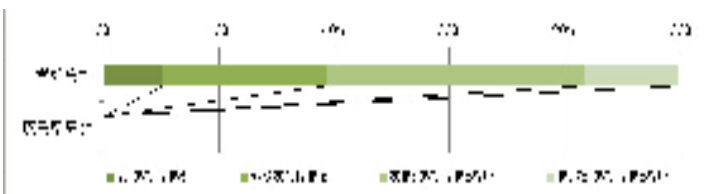


改善したい点(◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	今後の具体的な取組みの内容
◎家庭学習において学校の授業の予習・復習に取り組んでいる児童の割合が低い。(予習 42.9%, 復習 53.1%) ◎家庭において読書をしたり友達や家族と読書にかかわる話をしたりすることが少ない。(42.9%)	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年から家庭学習の課題として「予習・復習」を意識的に位置づけていく。 ・「家庭学習の手引き」を各家庭に配布し、家庭学習の質・量の向上を図る。特に高学年では自主学習に取り組める児童の割合を高める。 ・毎学期、読書月間を設定し読書に対する意識を高めるとともに、「全校読書貯金」の取組みを通して個々の児童の読書量の変化を正確に把握していく。

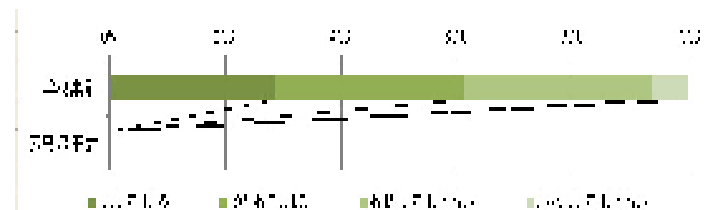
来年度の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・「復習」に取り組める児童を20%向上させる。 ・「本を読むのが好きだ」と感じる児童を20%向上させる。
---------	---

2 教科学習への意識

国語の授業では、メモを取りながら聞くことがあります。



算数の授業では、理由をあげて自分の考え方やとき方を説明しています。



	児童の回答と学校の指導についての課題 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	授業改善の方向性や具体的な取組み
国語	◎国語の授業において「メモ」を取りながら聞くことができる児童は38%であり、国語の「要点の聞き取り問題」の通過率も55.1%と低いことから、文章や話の要点をすばやく整理する能力が不足していると考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師主導の授業を改善し、読み取りを書いたり要点を整理したりする学習活動の割合を高めていく。 ・「聞き取って要点をメモする」という活動が日常的に行われていない実態を改善し、様々な教科で実施していく。 ・「人の話を集中して聞き取る」という学習態度や生活習慣を低学年からきちんと定着させていく。
算数	◎算数のみならず全ての教科・領域において、理由をつけて自分の考えや意見を発言できる力の育成に取り組んでいるが、児童の自己評価では「できている」と評価している児童は約60%である。	<ul style="list-style-type: none"> ・算数ではこれまで一斉学習の形態をとることが主であったが、自分の考えを説明する機会をすべての児童に保障するためにもペア学習やグループ学習といった形態の授業を増やしていく。 ・どのような説明のしかたをすればよいのかわからない児童が多いので、「説明のしかた」の事例を児童に示し、まずはそれを真似るところから定着を図っていく。

来年度の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の授業においてメモを取りながら聞ける児童を60%以上にする。 ・算数の授業において理由を挙げて自分の考えやとき方を説明できると評価できる児童を70%以上にする。
---------	--

授業改善シート〔実施スケジュール〕

校番(63)番 福山市立 明王台小学校

